

図 1 全体図

view 関数が *request* を受け取り *response* を返す。url と view 関数のマッピングは `urls.py` で記述。DB の操作は Model クラスを通して行う。Form で入力した値を直接 DB へ保存する `ModelForm` もある。テーブルの作成やカラムの変更は migration ファイルを使用する。css や js は html テンプレート内から読み込む。

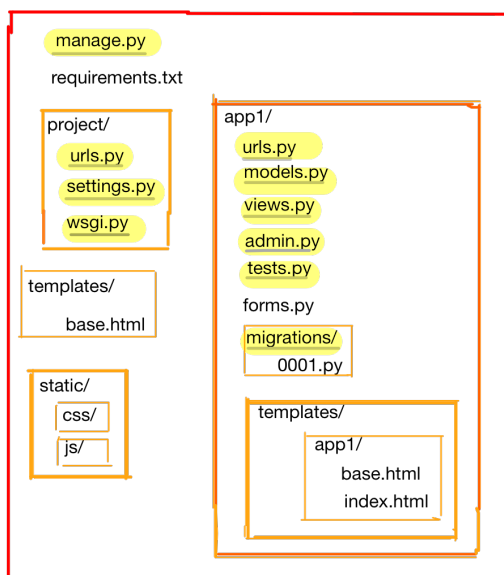


図 2 ファイル構成

manage.py	コマンド実行の起点
urls.py	URL と view 関数の紐付け
settings.py	プロジェクトの設定
models.py	DB の設計書
views.py	コントローラ
admin.py	管理画面設定
tests.py	テスト記述
forms.py	Form クラス記述
templates/	html テンプレート置き場
static/	静的ファイル置き場
migrations/	DB 変更用ファイル

下線のあるファイルは `startproject` コマンドや `startapp` コマンド時に自動的に作成される。全ページ共通のヘッダやフッタ用に `project` 直下に `templates` ディレクトリを用意しておく と便利。